



りくぜんたかた

市議会 だより

CONTENTS

第2回定例会

特集 市政70年座談会	2
第2回定例会	6
一般質問	8
常任委員会活動ほうこく	13
語る会・傍聴者の声	16
ミニ特集 交流コーナー	18



お天王さま夏祭り 2025 / チャオチャオ陸前高田道中おどり

No. 133

発行日

令和7年8月6日

岩手県陸前高田市議会

● 編集／議会だより特別委員会

陸前高田の魅力を語る



※左から順に

- THE BLUE SUP
植田 豊 デンゼル さん (30)
- 陸前高田市森林組合
遠藤 優輝 さん (27)
- 一般社団法人 陸前高田市観光物産協会
菅野 睦子 さん (24)
- 社会福祉法人 大洋会 慈愛福祉学園デイサービスセンター
佐藤 あかり さん (22)
- 医療法人 勝久会 介護老人保健施設松原苑
藤丸 颯汰 さん (21)
- 議長
及川 修一

自己紹介
市制施行70周年に当たる今年。本市で活躍する5人の青年に未来を語っていただきます。自己紹介をお願いします。

菅 神奈川県出身で、地域おこし協力隊3年目です。陸前高田市観光物産協会に勤務しています。観光情報の発信を担当していて、特にインスタグラムなどのSNSに力を入れています。次世代の観光客に陸前高田を知ってもらうためがんばっています。夏はライフセーバーとしても活動しています。



菅野睦子さん



植田豊デンゼルさん

植 奥州市出身で、父がカナダ人、母が日本人のハイフです。以前は八戸市で教員をしていました。今は地域おこし協力隊として、広田町の太野海岸で、SUP（スタンドアップパドル）の普及活動に取り組んでいます。将来的には、「陸前高田II SUPのまち」と言われるようになれば嬉しいです。



取り組みたいこと

議 これから取り組みたいことは何ですか。

藤 介護という仕事をもっと知ってもらえる場をつくりたいです。「大変そう」「体力が必要」と思われがちですが、実際はそれだけではありません。大変な瞬間もありますが、それ以上にやりがいを感じられる仕事です。進路選択の際にも情報が少ないと感じたので、市にももっとオープンに知る機会をつくってもらいたいです。

佐 障がい児と地域の方が交流できる場を広げていきたいです。交流を通じてこどもたちの表情や言葉がどんどん豊かになっていくのを実感しています。ただ、夏は暑くて外遊びが難しく、室内

遠 横田町の出身で、高校卒業後はいわて林業アカデミーで学び、今は陸前高田市森林組合の現場で働いています。チェーンソーや重機、トラックの運転など一通りの作業をしています。陸前高田は、県内陸部ほど林業が盛んではないんですが、もっと魅力を知ってもらいたいと思っています。



遠藤優輝さん

佐 米崎町出身で、今は高田町に住んでいます。一関の短大に進学後、慈愛福祉学園デイサービスセンターで保育士として働いています。障がいのある方や児童を日中お預



遠 林業のイメージを変えていきたいです。木を切るII自然破壊というイメージがありますが、実際には成長しすぎた木はCO2を吸収しなくなるため、適切な伐採と管理が必要です。アカデミーで学んだことを活かし、若い人たちにも林業のリアルを伝えていけたらと思っています。

議 遠藤さんは、先日の大船渡の林野火災はどう見ていますか？

かりする施設です。仕事を離れると、太鼓チーム「天道虫の会」に参加し、イベント出演もしています。



佐藤あかりさん

藤 米崎町出身です。松原苑で介護員をしています。今年は介護福祉士の資格試験に挑戦する予定です。将来的にはケアマネージャーを目指しています。

休日は溪流釣りやツーリングを楽しんでいます。



藤丸颯太さん

自分の仕事の強み、悩み
議 仕事をする上で自信を持っているものは何ですか。あるいは、悩みなどありますか。
藤 利用者のためになることを常に意識しています。認知症の人もうつしゃるので、事故が起きないように職員間で話し合い、他に負けないくらいの対策に取り組んでいます。
佐 私も利用者のためになることを常に考えるようにしています。私は主に18歳以下の利用者と接するのですが、言葉が出なくても感情を伝える方法を教えたり、就労施設に移る時のために、この子はどんなことが得意で苦手なのかを職場のみんなで見ながら分析しています。

遠 自分の強みは、林業アカデミーで学んできたことと合わせ、伐採から搬出まで作業全般に対応できることだと思っています。

植 私は、「誰かのために」というより、SUP好きで、その楽しさを多くの人に伝えたいという気持ちで働いています。悩みは、冬場の集客ですね。SUP以外でも海と関わる機会をつくれればと模索しています。

菅 強みは情報収集力だと思っています。道の駅で来訪者の動向を分析したり、データを基に戦略を考えたりするのが面白いです。情報を基に、まちをどう動かすかを考えるのが観光の醍醐味です。

遠 今後、職場でも応援に行く可能性があると聞いています。燃えた木はチェーンソーの刃が立たず、炭を切っているような状態で、伐採作業にはどれだけの時間がかかるかわからないです。さらに海水消火で土壌への影響も心配です。

議 次に植田さんが取り組みたいことは何ですか。

植 こどもたちに海を身近に感じ、親しむ機会を増やしていきたい。来店者の声を聞くと、「海との距離」を感じていることに気づきます。安全面の配慮は重要ですが、それがかえって海の魅力を活かしきれていない要因になっているかと。海は一生なくならない財産だと思っているので、私だったらどう活用していくか、それって他の分野でもた

くさんあると思うんです。海の魅力を活かすことによって、さらなる復興にもつながると思っています。



菅 陸前高田の魅力をもっと多くの人に届けたいです。着任当初はインスタグラムで「陸前高田」と検索しても魅力的な情報が少なかったけど、今はビジュアル的に興味を持ってもらえるよう力を入れていきます。観光の周遊性も課題で、高田松原だけでなく、市内のお店も利用してもらえよう。夏企画にも取り組んでいます。

議 佐々木朗希選手のマンホールも設置されましたが、どうですか。

菅 観光物産協会がある「まちの縁側」に設置されていて、1日500人近く来訪された日もあり、野球の力を感じました。マンホールをきっかけに観光グッズを購入してくれる方もいて、今後は市内のお店の紹介にもつながっていききたいです。

陸前高田に住む理由

議 移住した菅野さんと植田さんが陸前高田を選んだ理由を教えてください。

菅 やはり一番は人のあたたかさだと思います。防災スタディツアーで初めて訪れた時、うごく七夕に参加させてもらいました。地元の方との交流

や「亡くなった魂が迷わないように七夕をやる」という話を聞き、人のぬくもりを強く感じました。

植 私は「可能性の高さ」に惹かれました。陸前高田には、1位のもの、は少ないですが、2位や3位のもの、はたくさんあると思っています。その2位・3位のを1位に見せていける余地があるという意味で、非常に可能性があるまちだと感じました。

議 遠藤さん、佐藤さん、藤丸さんが地元に残った理由は。

遠 私はもともと人混みが苦手で、都会には住めないと思っていました。陸前高田の自然や空気が自分に合っていますし、祭りや文化が地域に根づいているのも魅力だと感

じ、ここに住み続けています。



佐 進学時に一関に住みましたが、近くに大きな店があっても意外と行かなかったんです。陸前高田は、買い物に行けば知り合いと会えて安心する。そういった距離感が、私にはちょうどいいと感じています。「陸前高田がいい」というより、「陸前高田でいい」と思うようになりました。



藤 バイクや車が好きなので、ツーリングで見る景色がすごくいいです。若者向けの施設は少ないけど、自然の良さを求めている人もいると思います。でも、カラオケやファーストフード店があれば、もっといいんですけど。のどから手が出るほど飛び付きますけどね。



遠 市街地の空き地を見ると、ある程度の店や映画館が欲しいなって思いますね。

植 都会に住んでいても、近くにお店があっても意外と行かないですよ。確かに陸前高田には

ファーストフード店はないですが、おいしい飲食店はたくさんあると思うので。ちなみに職場に移住者の方はいらっしゃいますか？

遠 いますね。都会の生活に疲れて移住してきた人で、もともと田舎暮らしへの憧れがあったようです。田舎の人は都会に、都会の人は田舎に憧れる……って、あるあるです。

植 ないものねだりなんですよ。田舎に呼び込むチャンスなんじゃないですかね。都会の人口の方が多いから。

佐 実は、私、菅野さんが担当しているインスタグラム見ていたんですが、すごいクオリティが高くて、「陸前高田にこんなの作れる人いるの？」って思っていました。陸前高

田の人だけでできないことを補ってもらっているんだなって、今日実感しました。

遠 確かにそうだと思います。

植 私も菅野さんの情報発信にはいつも助けられています。今後、観光分野で何か必要だと思うことはありますか。

菅 今の課題は、数百人規模の観光客を受け入れる体制がないことです。このままではオーバーツーリズムになってしまいう可能性もあります。だからこそ、受け入れ環境の整備が必要だと感じています。

植田さんのSUPの受け入れ人数の上限の課題も同じですよ？



植 そうなんです。始めたばかりでガイドする人数も少ないので、あまり大人数は受け入れられないですね。でも、今度ドローイングができるので、それは楽しみでもありますね。

議 残念ですが時間が来てしまいました。

みなさんの陸前高田を思う気持ちが伝わる座談会でした。本日はありがとうございました。



令和7年度

一般会計補正予算

2億6596万円を追加し

総額

174億5540万円

市内の活性化を図るため

中小・小規模企業振興条例を可決

市民の命を守るため

高規格救急自動車を更新



取得予定価格

2629万円

高度な救命処置を行う車両の更新で、人工呼吸器や除細動器（AED）などの医療機器を備えます。救急現場での応急処置から、搬送中の救命処置まで対応可能です。

補正予算

333万円増

国勢調査費

国勢調査の事務負担軽減のため、会計年度任用職員を任用する人件費。

問 国勢調査は国からの事務委託であるが、なぜ一般財源による補正予算を計上したのか。
答 国からの委託金は最終的に全額交付される見込みであるが、現時点では内示額しか確定していないため、不足分を一般財源で補正したものです。



エアコン設置予定の
広田小学校

問 エアコン設置について、普通・特別教室の他、体育館への設置の予定は。
答 国からの補助金の条件にある体育館の断熱等、大規模な改修が必要となるため段階的に整備を行う。

補正予算

9000万円増

小学校改修事業費

広田小学校の特別教室エアコン設置工事に伴う高圧受電設備（キュービクル）の設置工事を実施するもの。

議案可決

郵便局指定

陸前高田市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について

マイナンバーカードの電子証明書更新などの行政手続きを矢作郵便局と広田郵便局で行えるよう指定するもの。



11月からマイナンバーカードの更新等に対応

答

更新件数増加に対応するため、矢作・広田郵便局で業務を開始する。更新ができず、マイナ保険証が利用できない場合は資格確認書の送付や代理人手続きで対応する。

問

マイナンバーカード電子証明書の更新業務などを郵便局で始める理由や市の対応は。



中小企業
振興条例を可決！！

陸前高田市中小企業・小規模企業振興条例制定の背景として、東日本大震災の第2期復興・創生期間終了を見据えた中で、中小・小規模企業支援を今後も継続的に進めていくためには、制度的な整備が喫緊の課題となっていました。また、国の小規模事業者支援推進事業補助金の交付要件の一つとなることから、地方

自治体による振興条例の制定が求められていました。この条例により、中小企業などの振興施策を推進し、市の産業基盤の安定化と強化を図ることで、市民の豊かな生活に寄与することを目指しています。



条例全文をご覧
いただけます

国へ意見書を提出

我が国の主食であるコメの十分な生産体制を構築するとともに、コメの価格と供給の安定を図るよう求める意見書を可決し、国に提出しました。



意見書をご覧
いただけます



脱穀作業の様子

第2回定例会は、6月12日から27日までの16日間の会期で開催しました。

斎苑火葬炉等の改修工事費などの予算繰越報告4件、専決処分3件と執行前提案2件、条例案2件、補正予算案5件を承認・可決しました。一般質問には9人の議員が登壇し、財政運営や地域経済の活性化、子育て支援や防災対策など、市政の現状や課題について活発な議論を交わしました。

さらに委員会発議として、「中小企業・小規模企業振興条例の制定」と「消費者と稲作農家が共生できる政策を求める意見書」の2件が提出され、いずれも可決しました。

我が市政を問う！

一般質問

菅野 秀一郎
(創生会)
三陸花火10回記念大会開催見送りに伴う市内外への影響
消防団員の維持、確保
児童公園の在り方

伊勢 純
(日本共産党)
漁業の省力化機械導入策と漁業共済の補償制限問題
道路整備などの市補助制度の改善
稲作・酪農家の支援
新エネルギー設備導入促進事業助成制度
観光施設などの周辺や歩道・駐車場の管理

中野 貴徳

市街地と海の観光活性化
若者の定住促進と交流機会の創出に向けた拠点づくりとその効果による少子化・人口減少対策
高田高校の特色強化と広域からの生徒の受入体制及び卒業後の関係維持

大和田加代子
(碧い風)

ピーカンナッツ事業
脱炭素先行地域の取り組み

大坪 涼子
(日本共産党)

市民生活を守る緊急の物価高騰対策
子育て世帯への物価高騰対策
本市の養殖漁業支援

小林 卓

中沢浜貝塚の調査と保存・活用
広田半島のみちのく潮風トレイル

藤倉 泰治
(日本共産党)

国政と地方自治体の関係
公共工事と地域経済対策
全国防災における本市の役割と取り組み

佐々木良麻
(とうほく未来創生)

関係人口
二地域居住

木村 聡
(とうほく未来創生)

財政の今後の方針
地域経済における人手不足と人材育成



伊勢 純
(日本共産党)

漁業省力化の加速は 開発や導入を積極推進



こちらから視聴できます

問 漁業省力化機械導入の加速は。

答 支援事業には国のマーケットイン型養殖業等実証事業などがある。国補助の条件に適合しない場合には、市の補助金交付を行う。広田湾漁協とも連携し、機械の開発や導入支援を積極的に推進する。

問 全国で新規加入の漁業共済には補償が制限されている。対処は。

答 アルプス処理水の海洋放出後の令和6年1月1日以降は、共済新規加入者に補填



近海産のマダイ

割合50%以下、補償割合30%以下となる制限が行われている。

市は、加入申請の際に個別に状況を確認し判断するよう、国に働きかける。

問 道路整備など補助改善は物価高に合わせ、コミュニティ道路工事費補助金などの改善は。

答 地域負担分の軽減策に地域交付金の充当も可能とした。今後は、本制度の改訂等も視野に入れる。

問 稲作・酪農家へ支援は本市の稲作・酪農家への支援は。

答 稲作農家については農業用機械設備等導入事業費補助金を交付。さらに今年度から上限額を引き上げた。県の支援事業に協調補助なども行っている。今後、酪農家の意見も聴きながら支援を検討したい。



菅野 秀一郎
(創生会)

秋の三陸花火大会は 開催の見通し立たず

問 5月に予定された花火大会の開催見送りについての考えは。

答 共催協定書により、実行委員会との役割を明確にし、市は企画・運営に携わっていません。とはいえ、多くの方々にご迷惑がかかったことは、大変遺憾に思っています。

問 秋の開催は可能なのか。

答 協定書により9月20日の契約となっているが、現時点で見通しは立っていない。



最初の三陸花火大会
(令和2年秋)

公園の設置場所は

問 児童公園が設置される候補地として、市内4か所が提案されているが、その現状は。

答 6月13日の整備検討会で、広田地区に遊具を設置することが決まった。加えて、夢アリーナに屋内用遊具を設置する予定のほか、毎週土曜日の午前中に法人立保育園の園庭開放に向けて協議を進めている。

消防団員の現状は

問 消防団員の維持・確保策は。

答 現在の団員数は488人。充足率は76・3%で、地域防災力の低下を懸念している。イベントを活用した広報活動や全国的に注目されている女性団員の加入促進などを支援していきたい。



中野 貴徳

高田高の生徒減対策は 県に対し魅力づくり要望



こちらから視聴できます

かさ上げ地の利用は

問 高田・今泉地区のかさ上げ地の利用率が低迷している現状についてどうか。

答 かさ上げ地の利用率は45・4%程度であり、今後も土地の活用を促進し、にぎわい創出のためテナント施設建設や土地利用のさらなる促進が大きな課題と認識している。

若者の拠点づくりは

問 震災前にあった勤労青少年ホームのような若者が集える場の整備はどうか。

答 ホームは再建せず、各講座や楽器演奏などの活動が可能な部屋を市民文化会館に配置した。またコミュニティホールや夢アリーナ等を活用することでその機能を補完できると考えている。



本市唯一の高等学校

問 高田高校の生徒数減少に対する考えはどうか。

答 県外生徒の受け入れや国際関係学科の設置など、魅力づくりを県に強く要望している。

問 地域外から生徒を受け入れるには寮の整備が必要では。

答 財政的理由で新たな寮建設は難しいが、市営住宅など既存施設を活用し、居住環境の整備を目指している。



こちらから視聴できます



ピーカン苗木代に補助は 産地化促進事業で検討へ



こちらから視聴できます

問 これまでピーカンナツ事業に地元農家の顔が見えなかった。今後は果樹農家の知恵や経験を借りることはどうか。

答 剪定など、リンゴ栽培と似たところもあると感じている。リンゴ農家の力を借りることや一般の人に広げることでも考えていく。

問 本市には果樹の苗木・資材代に補助する果樹産地化促進事業がある。この対象品



子房がふくらみはじめたピーカンナツの雌花（米崎ほ場）

目にピーカンナツを入れることはどうか。

答 ピーカンナツはまだ試験段階だが、最終的には6次産業化を目指している。興味のある人が一緒に進めていければいいと考えるので検討する。

災害時の給電策は

問 千葉県匝瑳市にある営農型太陽光発電は災害で停電になった時、無償の給電所になるので、地域住民が電気を求めてスマホや電気炊飯器を持って集まってくる。本市でもこのような取り組みはどうか。

答 脱炭素先行地域の取り組みの中で可能か、設備投資や事業性の観点も踏まえ事業者に伝えたい。



貝毒検査の全額補助は 県に支援を要望する



こちらから視聴できます

問 貝毒検査費用の補助を現状2分の1から全額にできないか。

答 この検査だけ全額補助は難しい。県に対し支援を要望する。

燃油高騰支援はどうか。

問 国県に要望する。

問 県外からの若手就業者や水産アカデミー修了者への養殖種目転換や住まいの確保等の細かい支援はどうか。



養殖漁業を支える漁船（脇之沢漁港）

答 各種相談への対応をきめ細かく行っていく。

問 物価高騰対策は米価の高騰対策が緊急課題だ。国の交付金を活用し全世帯へ米確保給付金はどうか。

答 おこめ券配布の自治体の事例もある。確保給付金も有効な支援策のひとつだ。

問 国の対策だけでなく、国保税再引下げ、水道料引下げ、ふるさとタクシー券の枚数増やエアコン設置補助等はどうか。

答 国県の動向を注視し、効果的な対策を検討していく。

問 保育料の完全無償化は第1子3歳未満児の保育料が有料だが、本市も完全無償化にすべきではないか。

答 鋭意検討する。



中沢浜貝塚活用いかに 小中学生の貴重な教材



こちらから視聴できます

問 広田町にある中沢浜貝塚の歴史的価値を地域の子どもたちに伝える意義は。

答 郷土の自然や歴史、文化を知することは少年期のアイデンティティの形成に大きく影響し郷土愛を醸成するものである。

問 小中学校の郷土学習や総合学習などのカリキュラムに積極的に組み込む考えはないか。

答 中沢浜貝塚は、本市唯一の国指定史跡であるとともに、縄文時代の生活にも触れることができる貴重な教材である。今後は市内の各小中学校において、積極的に学習する機会をつくっていく。

問 トレイルのPRはトレイル体験のブランド化や観光資源としてのPR活動の強化について、今後ど



指定緊急避難場所
中沢浜貝塚歴史防災公園

のように取り組む考えか。

答 本市を潮風トレイルの拠点とするため、モニターツアーを実施する。また地域資源を最大限に活用した旅行商品をつくり、トレイル体験の高付加価値化を図っていく。このようなブランド化を世界に広く発信するために、ユーチューブによる動画配信など、プロモーションの強化にも取り組んでいく。



防災研修会開催の考えは 継続し防災・減災に取り組む



こちらから視聴できます



緊急消防援助隊の見送り

問 来年は震災から15年の節目を迎えるが、災害などに対する全国規模の研修会開催の考えは。

答 防災・減災を伝えるのは継続性が重要だ。節目の年にふさわしい取り組みをこれから検討したい。

問 「市制70周年事業は来年」と新聞報道があった。震災15年と合わせて企画を考えているのか。

答 一般の山林火災などを鑑みて今年は控えるべきと

考えている。70周年の式典と震災15年は重なるが、今後慎重に検討していく。

問 米価高騰への見解は政府の減反政策や輸入拡大などによって米不足と米価高騰になっていると思うが見解はどうか。

答 減反政策については、食料を国家が需給まで管理することが結果的に生産の効率化などを妨げ脆弱な生産体制になってしまったと考える。いずれにしても生産者・市民をしっかりと支援していく。

市内の公共工事増は

問 地域要望や防災上の危険箇所などの公共工事での国の交付対象とならない場合の対応はどうか。

答 防災上緊急度の高い路線は有利な起債を活用し、安価な維持補修などは単独事業として対応している。

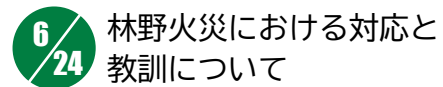
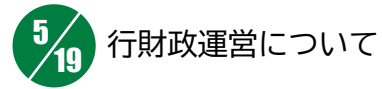
総務

所管事務調査

所管事務調査



財政調整基金について



大規模林野火災での本市の対応状況について説明を受ける

徳 聡 子 治 也
貴 加 泰 昌
野 村 和 倉 浦
中 木 大 藤 鶴
委員長
副委員長

総務常任委員会では、2月下旬に本市および大船渡市で発生した林野火災を受け、市の対応や今後の防災体制について、本市消防防災センターで、中村吉雄防災局長と及川貴美人消防長から説明を受け調査を行いました。

説明によると大船渡市の火災に対し、発災当日から支援本部を立ち上げ、避難者受け入れ態勢の準備や物資提供、福祉避難所リストの提供など、さまざまな支援を迅速に展開しました。本市職員の派遣や保健師による避難者の健康調査等に尽力しました。本市消防署員は防災ヘリへの補水活動・消火、残火処理活動等にあたりました。

また、岩手県と締結していた広域防災拠点施設利用協定に基づき、夢アリーナ

や市内運動公園等が全国から派遣された緊急消防援助隊の宿泊・休息場所として活用されました。

こうした広域的な連携によって現場活動が円滑に進み、被災自治体の負担軽減にもつながったと感じています。災害対応力の強化には、自治体間の役割分担はもちろん、受援体制の明確化、平時からの広域連携訓練の重要性がますます高まっていると実感しました。

その後、消防防災センターの視察も行い、令和8年度から県内29市町村が参加予定の消防通信指令業務が共同運用されることについて説明を受けました。広域化によって通報を受ける職員の土地勘が薄くなる不安の声に対してはGPS機能の活用により、携帯電話でも半径数メートルの誤差で発信場所が特定でき、その



消防資機材の現地調査

情報が各消防車両等にも伝達される体制が整っているとのことでした。

委員会での調査や現場での意見交換を通じて、市民の命と暮らしを守るためには、防災力と連携体制のさらなる強化、不断の備えが不可欠であることを改めて認識したところです。

なお、これまで本委員会で財政調整基金に関する提言書の提出を議論してきましたが、全議員からの意見等をふまえ、今任期中の提出を見送ることとしました。



さ さ き りょう ま
佐々木 良 麻
(とうほく未来創生)

関係人口創出の意義は 市民生活を補完する取り組み



こちらから視聴できます

問 市外にいながら多様な形で関わる「関係人口」は本市にとってどのような重要性を持つか。

答 関係人口の創出は、地域の活性化や福祉の向上など、市民生活を豊かにする取り組みを補完し、さらに発展可能な事業であり、重要であると認識している。

問 今後の施策においては、どのような点に重点を置

答 関係人口施策は多岐にわたることから、県内をはじめ全国の先行事例を参考にしながら、国の財政支援を注視しつつ必要な検討を進める。

思民制度の今後は

問 本市では、関係人口施策として「陸前高田思民制度」を創設し、ふるさと納税において使途目的の指定寄付を募ってきた。今後の関係人口施策への活用が考えられるが、残額と活用方針は。

答 残額は、令和6年度末において、約6千万円を見込んでいます。今後は、本市の魅力を積極的に発信し、新たな交流人口・関係人口の創出やこれまでのつながりを深化させていくよう活用していきたい。



き む ら あきら
木 村 聡
(とうほく未来創生)

財調基金減の要因は バランスを考慮した結果



こちらから視聴できます

問 令和6年度の財政調整基金の取り崩し額は。

答 5億円の見込み。令和6年度決算の実質収支見込み額の2分の1の1億7千万円を7年度に積み立てる予定。

問 今後の財政見通しでは、令和6年度末残高が59億円のところ、9年度末までに16億円減少する見込みだ。どう捉えているのか。

答 経済の低迷や復興事業の終了もあり、財政規律ばかり優先できない。財政運営は、市民や事業者を守る観点も必要であり、バランスを考慮した結果、基金取り崩しにつながっていると捉えている。

問 中長期財政計画は、経済変動があっても示すことが重要では。

答 見通しを立てることは確かに意義がある。計画と

なれば、精度の高い現状分析から目標設定が必要であり、さまざまな考え方があがり取り組んでいきたい。

地域の人手不足は

問 一次産業の人手不足は繁忙期に人を充足させられれば、生産を伸ばせると思うかどうか。

答 アルバイト等で人手を充足させるような場当たり的な考えではなく、生産加工体制の合理化など、長期を見据えた取り組みが大切だ。



ワカメ繁忙期のお手伝い

産業建設

所管事務調査

所管事務調査



陸前高田市中小企業・小規模企業振興条例制定について



- ・稲作農業に対する現状認識について
- ・稲作農業者及び消費者に係る意見書について
- ・条例制定後の中小企業等の振興に対する機運醸成に係る取り組みについて



市内店頭並ぶ政府備蓄米

策を求める意見書」を本委員会から発議することとしました。

パブコメも実施

陸前高田市中小企業・小規模企業振興条例（案）に関する意見を市民から募るため、市庁舎・商工会・各地区コミセン・市公式ホームページでパブリックコメントを実施しました。

2件を委員会発議

6月27日、本会議最終日において、「陸前高田市中小企業・小規模企業振興条例」と「消費者と稲作農家が共生できる政策を求める意見書」の提出についての2件を発議し、討論の後、両案とも可決されました。（本号6ページ参照）



市内各団体との意見交換

委員長	大坂俊
副委員長	伊勢純
	菅野秀一郎
	小林立卓
	及川修一

教育民生

所管事務調査

所管事務調査



陸前高田市こども基本条例について



議会と語る会
「市内小中学校保護者」



市当局担当部との意見交換
「教育総務課、学校教育課、子ども未来課」

教育民生常任委員会では、「陸前高田市こども基本条例」の制定を目指し、議会と語る会の開催やアンケート調査、行政視察などを通じて調査・検討を進めてきました。

4月21日に実施した調査では、2月に行ったアンケートの結果を分析しました。アンケートは、市内の小学3年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に、進路の希望状況や学校・家庭での生活実態について尋ねたものです。その結果は専門家の助言のもとで詳細に分析し、条文案作成の重要な参考としました。

6月7日には、市内の小中学校に通う児童生徒の保護者を対象に議会と語る会を開催しました。会では、子育て支援の

在り方や、スポーツ教室など学外での学びの場についてなど、参加者から多くの意見や要望が寄せられました。これらは、これまで実施した語る会での意見とあわせて、条例案の検討材料とするともに、今後の委員会活動の調査課題として活用していきます。

こうした取り組みを基に、条例案と、その内容を詳しく説明した逐条解説案を作成し、6月30日には当局の担当職員との意見交換を実施しました。意見交換では、条例案に盛り込んだ、こどもの社会参加の重要性や意見聴取の方法に関する課題などが挙げられました。

今後は、7月1日から30日まで実施したパブリックコメントの結果を踏まえて条例案を再検討し、第3回定例会において、委員会発議による条例案の上程を予



子育て当事者との語る会

定しています。



条例案に関する当局との意見交換

委員長	佐々木一義
副委員長	大坪涼子
	佐々木良麻
	菅野広紀
	福田利喜
	伊藤明彦

令和6年度 政務活動費執行状況

本市議会の議員は1人につき月額12,500円の政務活動費の交付を受けることができます。(会派に属する議員は会派に、会派に属さない議員は議員個人に交付)

政務活動費は、市政に関する調査研究等に資するため必要な経費として使用するもので、使途基準が定められています。

なお、交付額より執行額が上回る会派等については、自己資金にて対応しています。

会派等交付先	人数(人)	執行額(円)
碧い風	2	646,488
創生会	3	411,375
とうほく未来創生	2	306,111
日本共産党	3	378,782
小林 卓	—	0
中野 貴徳	—	82,500
佐々木 一義	—	0
大坂 俊	—	15,728
伊藤 明彦	—	400,000
及川 修一	—	154,120

議長交際費をお知らせします

令和6年度分の議長交際費の支出状況をお知らせします。議長交際費は議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。

支出区分	件数(件)	支出区分	支出区分
お祝い	0	0	
会 費	7	37,000	各団体表彰式・祝賀会・激励会等の会費
慶 弔	4	53,000	元市議会議員の逝去に際しての香典・生花
その他	5	51,020	他自治体訪問の際の土産等
合 計	16	141,020	

- 6月12日 ◎郵便局への行政事務の委託について(矢作・広田郵便局でのマイナンバーカードの更新等)
- 6月27日 ◎陸前高田斎苑火葬炉等改修工事に伴う施設の使用制限について
- ◎今後の財政見通しについて



開館を祝う仲町虎舞

気仙町にある県指定有形文化財「旧吉田家住宅主屋」の開館記念式典が、5月23日に行われ、議長・副議長および教育民生常任委員が出席しました。

旧吉田家開館式典

旧吉田家住宅主屋は享和2年(1802年)に建設され、仙台藩政下の気仙郡における政治の拠点として利用されてきました。その歴史的価値から県の有形文化財に指定されていました。東日本大震災により流出。その後、回収された部材を活用して修復作業が進められました。

このような事業は全国的にも例がなく、今後は今泉地区の歴史を伝える場として、また、地域のにぎわいの拠点としての役割が期待されています。

コンプラ研修

その2



第2回コンプライアンス研修「ハラスメントの実態と対策について」を5月21日に崎山美智穂社会保険労務士を講師に行いました。

「男は仕事、女は家庭」など無意識の偏見があると、良かれと思っての言動も相手を傷つけ、ハラスメントに発展することがあり、それを防ぐには、「これは偏見かも?」と意識することと、「それはハラスメントですよ」と他者に言うってもらえる関係性が大事と学びました。

まずは自分の中の「無意識の偏見」を知ることが必要と感じました。

全員協議会

令和7年4月以降に市当局から提出された案件をお知らせします。

- 4月15日 ◎#7119(救急安心センター事業)について
- ◎投票区の変更について(市内25力所から12力所に変更)
- 5月21日 ◎立教大学陸前高田サテライトの開所について(陸前高田職業訓練校内)
- ◎陸前高田市まちづくり総合計画に係る実施計画について

議会と語る会 市建設業協会

市建設業協会(畠山正彦代表理事)と5月8日に意見交換を行いました。

本年度から予算化された脱炭素先行地域に関する事業をはじめ、これまで市県に対して行われてきた要望事項の進ちょく状況、人口減少、若者の雇用問題、議員報酬など多岐にわたる意見が出されました。



- Q 脱炭素先行地域として今後の展開は。
- A 今後5年間で太陽光発電施設等の設備投資が予定されています。初期段階では専門性をもつ事業者への発注が限定されるものの、いずれは地元事業者への発注も進められる予定です。
- Q 新笹ノ田トンネル整備の見通しは。
- A 県は、令和5年3月に国道343号笹ノ田地区技術課題等検討協議会を設置して地質調査等を実施しており、事業化に向けた検討が進められています。市議会としては、今後も当局と協力して要望活動を継続していきます。

傍聴者の声



高田町在住の畠山正彦さんにユーチューブ(インターネット動画サイト)で一般質問を視聴しての感想を伺いました。

- Q 視聴は初めてですか。
- A いいえ、傍聴席に入ったことはありませんが、ユーチューブは以前も視聴したことがあります。
- Q どのように感じましたか。
- A 動画の音声聞き取りにくい時もあるので、改善してほしいです。
- Q 議会への意見はありますか。
- A 議員は持ち時間を十分に使って質問していて、よく勉強していると思います。若い議員の声はつきり聞こえて好感が持てました。



畠山 正彦さん
高田町在住 67才

企業や移住者など、外からこのまちに来てくれた人へのサポートが大切だと思います。人口を増やすことが重要と感じるからです。議会と語る会で少子化の話もしましたが、それは陸前高田市建設業協会だけの問題ではありません。雇用の問題や教育ともつながっているので市全体で取り組んでほしいです。

多くの人に議会に関心を持ってもらうために、傍聴しやすい環境を考えることも必要ではないでしょうか。小中学生に傍聴してもらうとか、議会だよりで議員を似顔絵で紹介するなどいいかと思います。

今後は一般質問だけでなく委員会質疑なども聴いてみたいです。

ミニ特集

議会と市民の交流 コーナー



市議会だよりを今回初めてしっかり読んでみました。どうしても興味があるものだけ読み、興味ないものはスルーしてしまいます。できるだけスルーしないよう次回も読んでみます。高田が良い街になるよう、考えてみたいと思いました。
(気仙町女性 60代)



脱炭素については、森林の再生などもっと取り組んでほしいと思います。異常気象によって、生態への悪影響も考えられます。
(高田町女性 60代)



毎回の議会だより楽しみに拝見しています。大船渡の林野火災には本当に驚いています。限られた募金しかできませんので、大船渡市への支援をよろしくお願いします。
(広田町女性 70代)



「市議会だより」高齢者にとっても読みやすくなり嬉しい限りです。カラーで字も大きく、すみずみまで読みたくなります。委員の方々の努力が見てとれます。
(高田町女性 80代)

◎議会だよりクイズ ○の中にはどんな漢字が入るでしょうか？

マイナンバーカードの発行や更新が
〇〇郵便局と〇〇郵便局でできるようになります。

応募方法

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキ、FAX、メールのいずれかで応募してください。また市議会だよりを読んだ感想、市議会への意見・要望などを必ず記入してください。正解者の中から抽選で5人の方に粗品をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。) ※いただいた意見要望等は次回の市議会だよりに掲載することがあります。

あて先 〒029-2292 陸前高田市高田町字下和野100 陸前高田市議会事務局 宛
FAX 0192-53-1210 MAIL gikai@city.rikuzentakata.iwate.jp
しめきり 令和7年9月8日(当日消印有効)

議会だより第132号クイズの答え

○の中にはどんな漢字が入るでしょうか？

answer

答え 脱炭素

表紙の写真



7月19日(土)に開催されたお天王さま夏祭り2025でダンスを披露するMignon Dance Circle(ミニョンダンスサークル)のみなさんを写真に収めました。暑さを吹き飛ばすような元気なパフォーマンスに、会場からは大きな拍手が送られていました。



市議会では、広くご意見を伺うため、市民のみなさんへクイズを出しています。第132号のクイズの答えとともに寄せられたご意見を紹介します。今回は、これまでお便りいただいたみなさんのご質問にお答えします。

Q

&

A

01

ギンザケ養殖は地域にメリットを感じる。環境負荷も考慮して取り組んでほしい。(令和5年12月127号)

「陸前高田サーモン」は令和6年に初水揚げ。今年の秋以降に事業の本格化を予定。エサの改良や自動給餌システムの導入により海洋環境への影響を減らし、水質悪化は報告されていません。

02

鳴石団地からの階段と、エコタウンから市営住宅道路脇に抜ける道路が老朽化しています。(令和5年12月127号)

現地を確認し、担当課へ状況を報告済み。また、市民意見の聴取を担当する広聴広報特別委員会にも伝えました。

03

能登地震のニュースに心痛めています。本市からの応援を。(令和6年3月128号)

本市では被災地に職員派遣を行い、募金活動も実施。議会では能登町と被災地の市議会議長会に対し義援金を送りました。1日も早い復興を願っています。

04

前号に掲載された介護・福祉施設等の職員対象の奨学金返還一部補助を早く進めてほしい。(令和6年3月128号)

令和6年度は21人が補助を受けました。このことで若者の地元雇用につながると考えています。

05

タクシー券の枚数をもう少し増やしてほしい。(令和6年6月129号)

タクシー券の事業は、令和4年度から交付対象の地域を増やしています。議員からさらに枚数を増やすべきとの意見もあり、市は財源も考えながら検討しています。

06

市内各所には砂袋(すべり止め)が置いてありますが、道路から離れた場所にはありません。(令和6年12月131号)

冬季には各コミセンや市役所敷地内に用意していますのでご活用いただけます。(無料です)

07

語る会などで市民意見を聴く機会が増え、課題解決に向け議会でも形になることを期待します。(令和6年12月131号)

寄せられた意見等を市長に申し入れし、また各常任委員会で調査しています。



報告書はこちらから

08

今年こそ傍聴したい。いつでも傍聴できますか。(令和7年3月132号)

傍聴は議会開会中いつでも可能です。その際は氏名等の記入の上、傍聴できます。気軽にお願いください。



鳴石団地入り口の階段



車椅子利用者も傍聴可能



陸前高田サーモンの刺身

第 21 回

がんばってます!!

◆一般社団法人レッドカーペット・プロジェクト

緑地化担当 小松 美穂子さん

一般社団法人レッドカーペット・プロジェクト（高橋和良代表理事）は、椿の植樹活動を行っています。広田町在住の小松美穂子さんは、高田町中宿に広がる椿畑の担当として、椿の手入れや草刈り作業に取り組んでいます。



私は東京都出身で親戚が陸前高田におり、特に震災後、ニュースやイベントなどで目にする陸前高田に気持ちを寄せていました。縁あって2020年に夫婦で陸前高田に移住しました。

レッドカーペット・プロジェクトに関わるようになったのは、陸前高田の椿は「物」として油やお茶などの製品に、そして「事」として東日本大震災後の津波に耐えたという二つの力を備えているという高橋代表の話に共感し、ボランティアとして参加するようになりました。

2020年から高田町中宿で椿の植樹活動を行っています。また、市内の中学校では、生徒たちに卒業記念として椿の植樹をしてもらう取り組みも行っています。

さらに、椿が地域資源であることや、ゆっくりと深く根を張るその姿にちなみ、「生き方を考えるきっかけになってほしい」との思いから、「椿学習」として気仙管内の学校を中心に教育活動も行っています。陸前高田の椿を日本農業遺産として登録を目指すという報道もあり、スタッフみんなで「ぜひ協力したいね」と話しています。

このプロジェクトで植樹した椿が育てば、椿茶の原料として提供することができます。高橋代表の手掛ける椿茶生産には、毎日 100 人を超える障がい者や高齢者が関わり、新たな雇用の創出につながっています。このような取り組みと連携できれば、私たちの植えた椿がより多くの人の生活を支えることができと思っています。

2026年3月には、全国椿サミットが大船渡市で開催される予定となっており、椿への注目度が高まると思います。「椿を見る・知る・食べる」ことができるツアーなど、新たな観光の形として展開されていたら素敵ですし、スタッフ全員が期待しています。

あ
と
が
き

熱暑が続く毎日です。米価高騰の折、農作物への影響が懸念されます。

今年もお天王さま夏祭り・チャオチャオ陸前高田道中おどりが開催され、ステージイベントや出店でにぎやかなふるさとの夏を楽しみました。表紙を飾ったキッズダンスなどのエネルギーなパフォーマンスに魅了されました。

チャオチャオ陸前高田道中
おどりに市議会も揃いの法被

で初参加しました。沿道からの声援がうれしかったです。今後ともクイズの解答と合わせ、ご意見・ご感想をお待ちします。



議会だより特別委員会

委員長	副委員長	委員
菅野 広紀	中野 貴徳	伊勢 純
大和田 加代子	小林 卓	菅野 秀一郎
佐々木 良麻		

4月 April

- 2 日 三陸地区国道協議会監査会（議長）
4 日 議会だより特別委員会
8 日 議会だより特別委員会
10 日 議会運営委員会 / 総務常任委員会
11 日 広聴広報特別委員会
15 日 議会だより特別委員会 / 全員協議会 / 産業建設
常任委員会
17 日 道の駅だいつう開所式（議長） / 岩手県市議会議
長会定期総会（正副議長）
21 日 教育民生常任委員会
23 日 広聴広報特別委員会
24 日 東北市議会議長会定期総会（議長） / 陸前高田市
民生委員児童委員協議会総会（副議長）

5月 May

- 1 日 総務常任委員会
- 7 日 令和7年度新笹ノ田トンネル整備促進期成同盟会総会（議長）
- 8 日 議会運営委員会 / 議会と語る会（建設業協会）
- 9 日 議会だより特別委員会
- 11 日 行政視察（愛知県豊橋市議会）
- 19 日 総務常任委員会
- 20 日 全国会議議長会第101回総会（議長）/市老人クラブ連合会総会（副議長）/商工会第69回通常総会（副議長）
- 21 日 全員協議会 / 議員研修会 / 議会だより特別委員会
- 22 日 国道107号整備促進並びに（仮称）大船渡内陸道路高規格化実現期成同盟会令和7年度総会（議長）
- 23 日 旧吉田家住宅主屋完成記念式典（議長ほか）
- 26 日 令和7年度若手県漁漁村協会定時総会（議長）/教育民生常任委員会
- 27 日 陸前高田市遺族会代議員会（議長）/広聴広報特別委員会
- 28 日 大船渡市農業協同組合第59回通常総代会（議長）/シルバー人材センター定時総会（議長）
- 29 日 令和7年度国道343号・広域幹線道路整備促進期成同盟会総会（議長）
- 30 日 産業建設常任委員会 / 若手・宮城県際市町議会議長会幹事会（議長）

6月 June

- 2 日 総務常任委員会
6 日 宮古市新市二十周年記念式典（議長）／日米文化教
育交流会議（カルコン）ウエルカムパーティー（副議長）
7 日 教育民生常任委員会（議会と語る会）／岩手県民
スポーツ大会選手団結団式（副議長）
9 日 議会運営委員会／会派代表者会
12 日 本会議／全員協議会／各常任委員会／各特別委員会
16 日 マンホールお披露目式（議長）
17 日 本会議（一般質問）／議会運営委員会
18 日 本会議（一般質問）
19 日 本会議（一般質問）／予算等特別委員会／全員協
議会（議員間討議）
20 日 予算等特別委員会／市政調査会
22 日 名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサート（総
務常任委員会委員長）
24 日 各常任委員会
25 日 各特別委員会／観光物産協会通常総会（議長）
27 日 本会議／全員協議会／議会だより特別委員会
30 日 教育民生常任委員会／行政視察（宮城県セヶ浜町議会）